

rTMS 治療とは？

2024 年度より、反復性経頭蓋磁気刺激療法（ rTMS: repetitive Transcranial Magnetic Stimulation ）を導入し、新たな治療を開始いたしました。

うつ病の治療は、休養や薬物療法が中心となりますが、それでも約 3 ～ 4 割の患者さんは効果が得られないと言われています。また薬の副作用が強く出てしまう人もいるため、薬剤治療を十分に続けられない患者さんもおられます。そういった状況の中、新しいうつ病への治療方法として rTMS 治療が開発され、日本では 2019 年 6 月にうつ病に対する rTMS 治療の保険適用が認められました。具体的には、磁気を用いて脳の特定位（左前頭前野/背外側前頭前野）を刺激する治療法となります。

rTMS 治療の流れ

当院通院中の患者様： rTMS 治療をご希望される場合や、ご興味がおありでしたら是非外来主治医にお声掛けください。主治医と rTMS 治療を担当する精神科専門医との間で適応について判断します。

他院通院中の患者様： rTMS 治療をご希望される旨を、かかりつけ医の先生方にご相談ください。rTMS 治療に関するチェックシート・質問紙票による問診を受けていただき、かかりつけ医の判断で当院へ紹介してもらいます。当院の rTMS 専門外来（第 2 ・ 4 月曜日午前）に受診いただいた後、問診や心理検査によって適応を判断いたします。

当院で rTMS 治療の適応と判断した場合は、治療は原則入院のもとで行うこととなります。rTMS 治療に関する講習を受けた精神科専門医のもと、週 4 ～ 5 日・ 1 日約 40 分といったスケジュールで約 6 週間にわたって行います。



rTMS 治療の適応

まず、以下の条件を満たしている患者様が適応となります。

- ・ 18 歳以上である。
- ・ うつ病である（これ以外は保険適応外となります）。
- ・ 1 剤以上の抗うつ薬を十分量・十分期間使用したが効果が認められない。
- ・ 重症度は中等度以上である（ハミルトンうつ病評価尺度[HAMD17]という検査により評価します）。

一方で、以下のような条件を満たしてしまうと、rTMS は実施できません。

- ・ 以下のような、頭の中に金属や磁性体を埋め込む治療を受けたことがある。

脳動脈瘤クリップ又はコイル、頸動脈又は脳血管ステント、脳深部刺激装置及び電極、迷走神経刺激装置、頭部金属製インプラント、磁力装着する義歯・インプラント、人工内耳、耳鼻咽喉科インプラント、埋め込み型補聴器アンカー・インプラント、強磁性金属を使用している眼内インプラント又はステント、脳脊髄液シャント

- ・ 以下のような体内埋め込み式の医療機器（心臓ペースメーカーなど）を使用している。

心臓ペースメーカー、植込み型除細動器、用型除細動器、心臓ステント、下大静脈フィルター、心臓弁、装着型注入ポンプ、植込み型インスリンポンプ、磁気的にプログラム設定できるシャントバルブ、伝導性・強磁性・その他の磁気感受性の強い金属

※これらの条件をクリアしていても、当院の担当医師が適応外と判断することがあり、その場合は rTMS 療法を実施出来なかったり、途中で終了することがあります。